



令和7年度 学校経営の全体構想

中津川市立川上小学校

【市の教育の方針と重点】

◇めざす姿：「よりよいひとりだち」

方針：生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成「知識と知恵」→「生きぬく力」

【児童の実態】

- ・素直で優しい
- ・学年関わりなく、助け合える
- ・自主性、主体性に弱さがある
- ・粘り強く物事をやりきる力に弱さがある

【学校課題】

- ・主体的・対話的に学ぶ態度の育成
- ・自己肯定感、自己有用感の育成
- ・心身ともにたくましい子の育成
- ・「学校が楽しい」という意識の高揚

【学校の教育目標】

自分の考えをもち みんなとともに 向上しようとする子

○かんがえる子 ○あたたかい子 ○きたえる子

【経営の重点】

仲間とともに、たくましく生きる子を育てる

合言葉「自分で」「自分から」

《知》考える子

確かな学力

- 自発的に学習に取り組み、学ぶ楽しさを実感できる子
- 対話を通して、自らの考えを深めることができる子

- ・複式授業の学びの確立
- ・相手意識をもち、自分の考えを自発的に伝えることができる授業
- ・実態に応じた家庭学習指導

《徳》あたたかい子

豊かな心

- 自己肯定感、自己有用感を得られる子
- 仲間や環境に進んではたらきかけようとする子

- ・たてわり（たんぼぼ班）活動の充実
- ・よさ見つけ、人権教育活動の充実
- ・自治的な児童会活動の推進

《体》きたえる子

健やかな体

- 目当てをもって、運動に取り組み、体力・運動能力を向上させる子
- 悩みを素直に相談し、その克服に取り組むことができる子

- ・運動、外遊びの推進と奨励
- ・生活アンケートと教育相談の充実
- ・健康・安全・保健教育（命の教育）の充実

〈四本柱〉 おあじな挨拶・まごころ掃除・かかわり学習・つながり読書

統合に向けて

・思いや願いをはっきり伝える力、態度の向上（筋道を立てて、わかりやすく話す）

見守り、見届ける面倒見のよい教師

【家庭、地域との連携】

【保護者との連携】

- ・学級懇談会、家庭訪問、個人懇談
- ・やさか学力アップ強化週間
- ・夏休み親子活動、労働旬間
- ・保護者による読み聞かせ

【地域との連携】

- ・学校運営協議会、子育て支援部会
- ・ふるさと学習の取組（篠笛、夕森ボランティア、カゲラウオッチング）
- ・民生委員による読み聞かせ

学校環境の整備（環境整備作業、プール清掃、スケート場の整備）

学校報、HPによる教育活動の発信、感謝の会の実施

地域の方々とともに、ふるさと川上に生きる子